

第67番札所 小松尾山 不動光院 大興寺

— 二大宗派の修行場として栄えた、歴史と由緒がそこかしこに —

本尊：薬師如来（秘仏）

所在地：香川県三豊市山本町辻4209

TEL：0875-63-2341

宿坊：なし



のどかな田園地帯の丘に建つ大興寺。地元では「小松尾寺」や「小松尾さん」の愛称で親しまれています。目の前には田を潤す、香川用水の分水路が流れていて、仁王門へと導く小さな橋の上に立つと、清涼感を感じます。

仁王門の金剛力士像は、ヒノキ材の寄木造で像高3.14m。寺伝によると鎌倉時代の運慶作とあり、四国霊場一の大きさを誇ります。迫力たっぷりの仁王像にご挨拶をして石段を進むと、途中に弘法大師お手植えと伝わる、巨大なカヤとクスノキの木があります。幹の表面はコケで覆われ、老樹ならではの味わいが時の流れを感じさせます。

現在は真言宗善通寺派のお寺ですが、かつては真言24坊、天台12坊が境内に並び、二大宗派の修経者たちが大興寺で修行していたそうです。その影響か、今でも本堂の向かって左側に弘法大師堂、右側に天台大師堂が並び、四国霊場の中でもとてもめずらしい札所です。

厳かな本堂をあたたく照らす赤いろうそくは「七日燈明」と呼ばれる願掛けの秘法。願いごとをろうそくに書いて寺に奉納すると、七日間祈祷してくれるとあって、参拝者に人気です。ろうそくのやさしい灯りは、身体と脳のストレスをやわらげてくれるといわれています。

